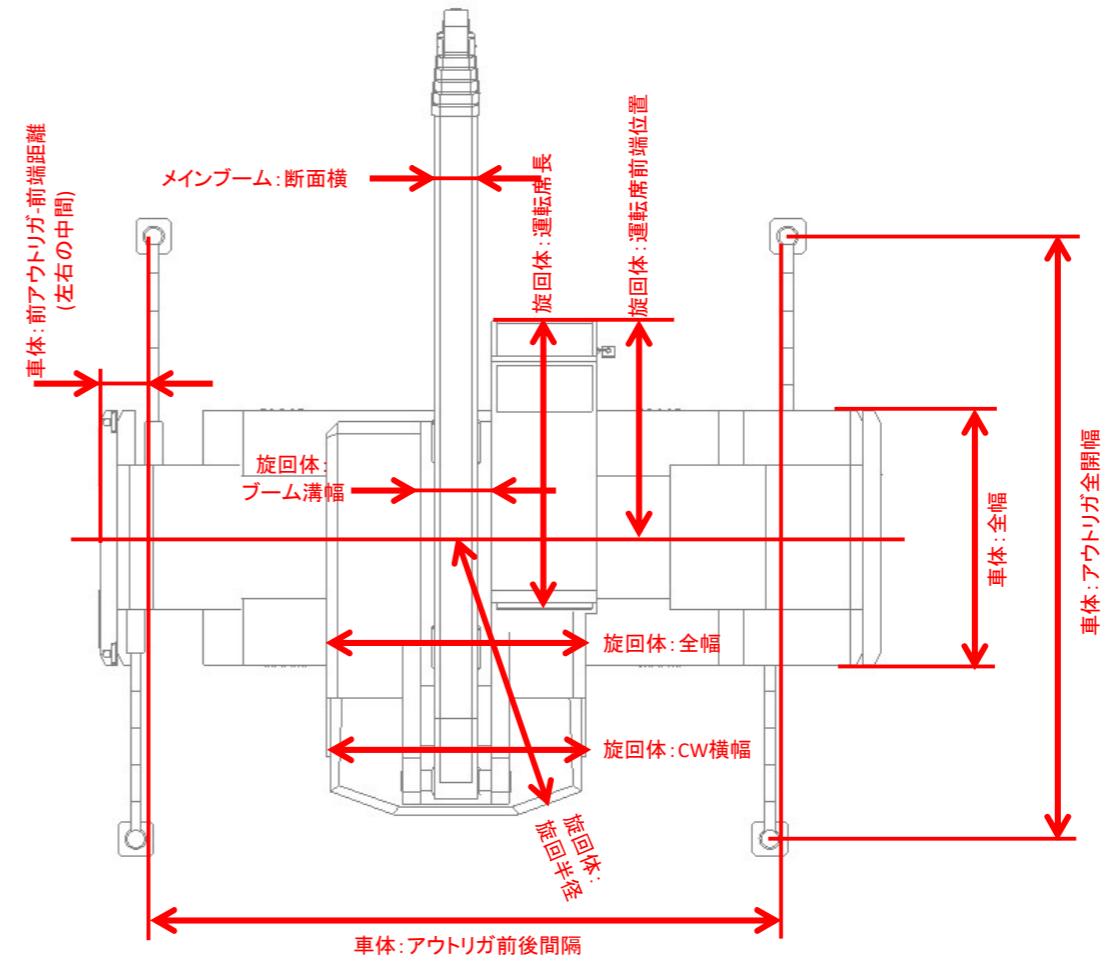
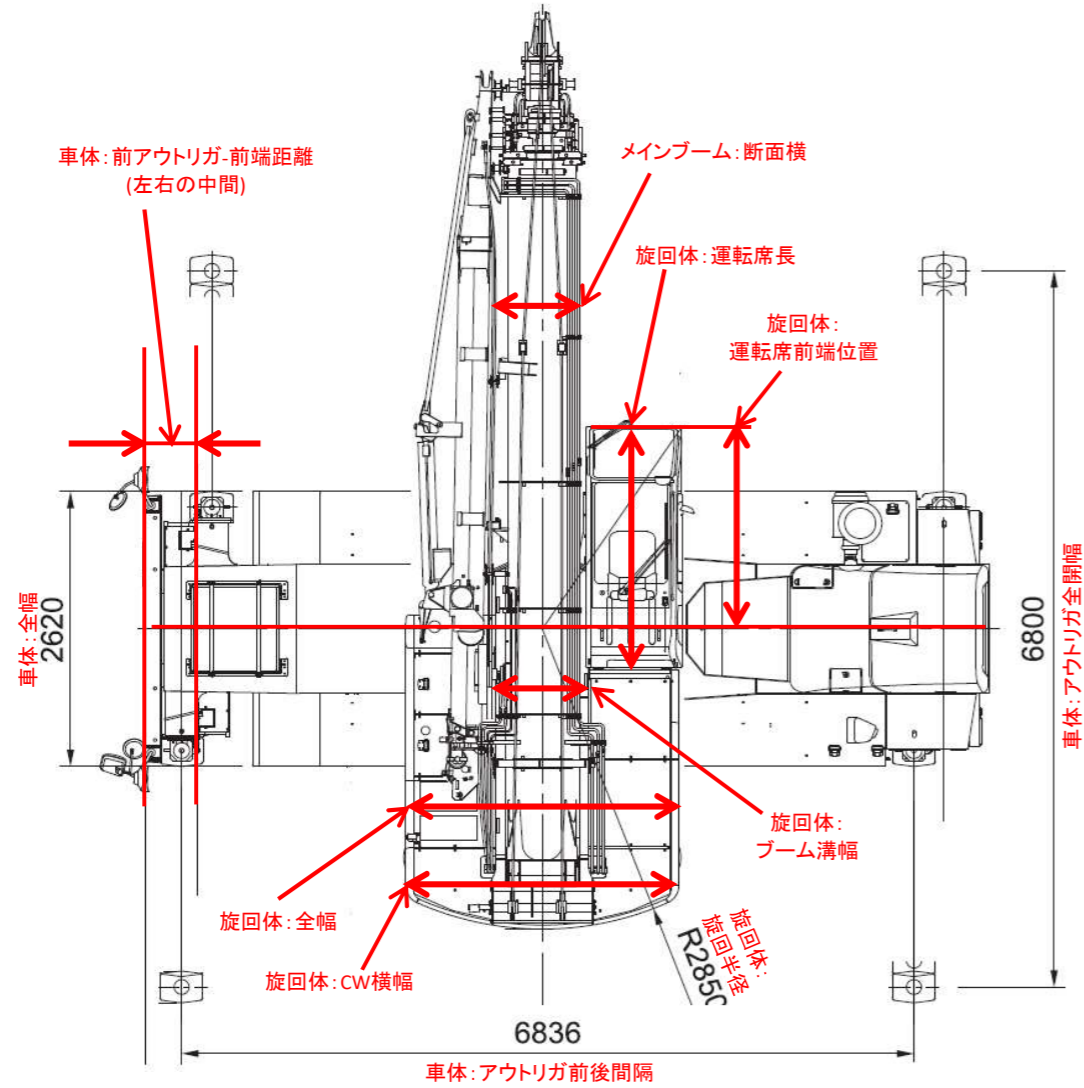
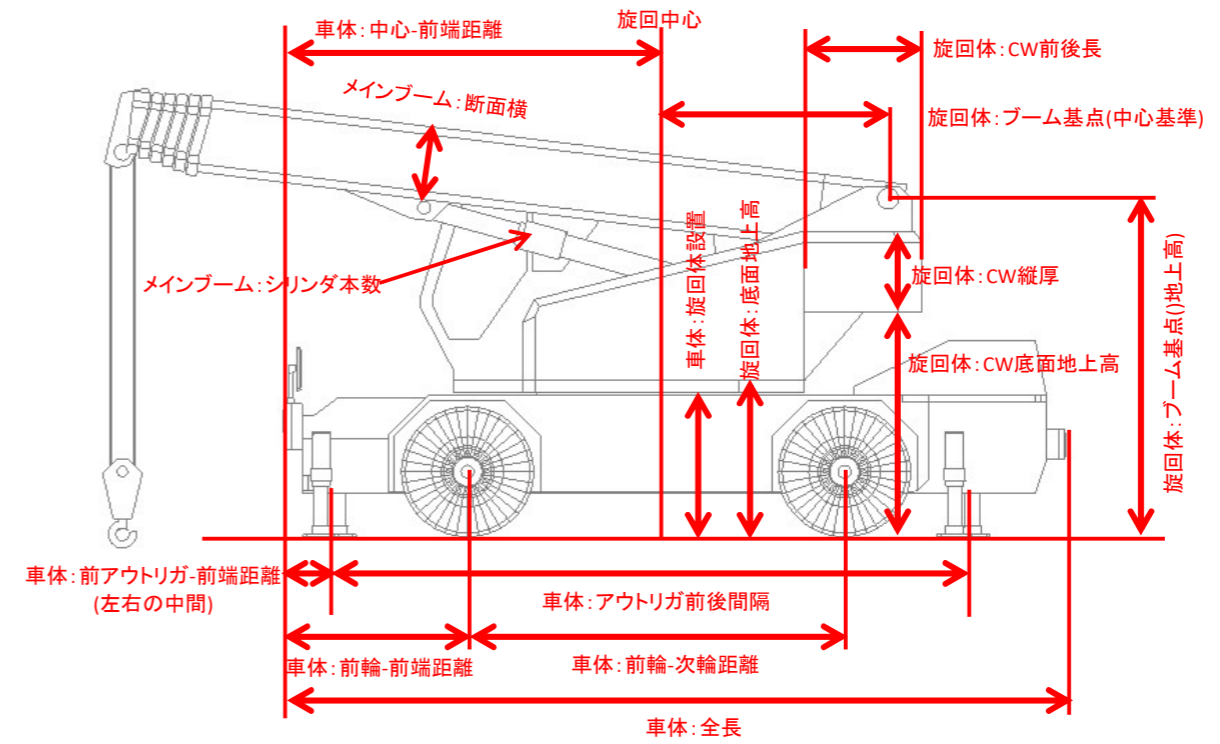
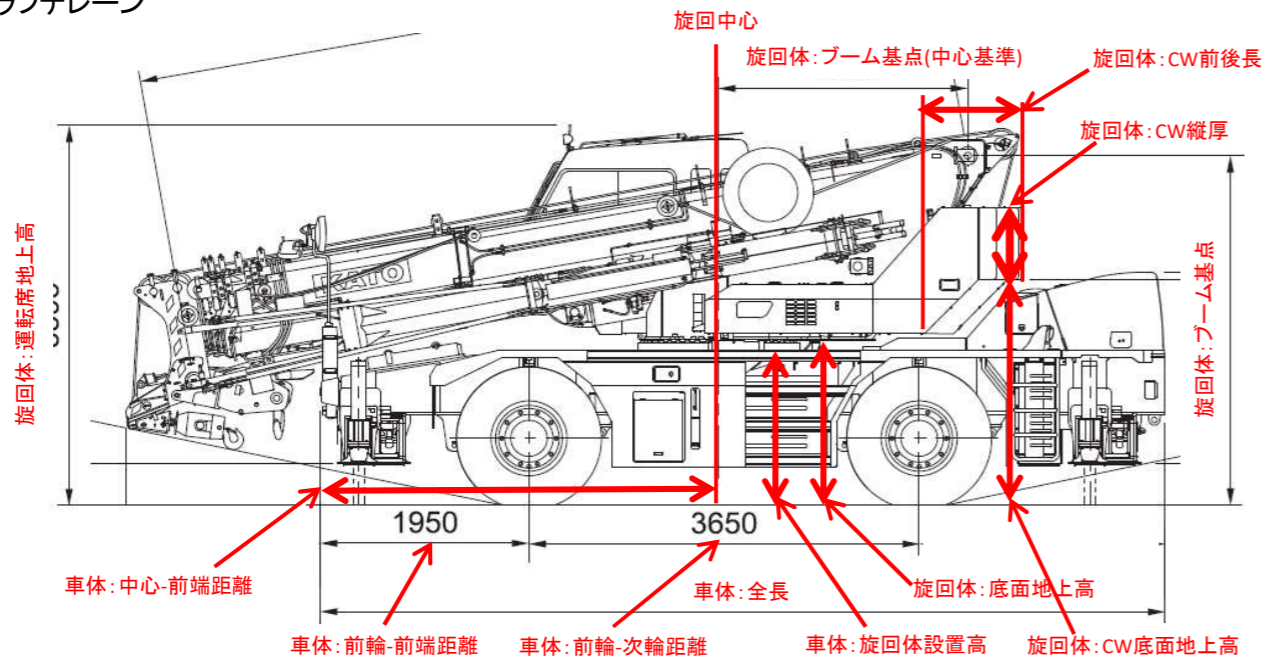


ラフテレーン



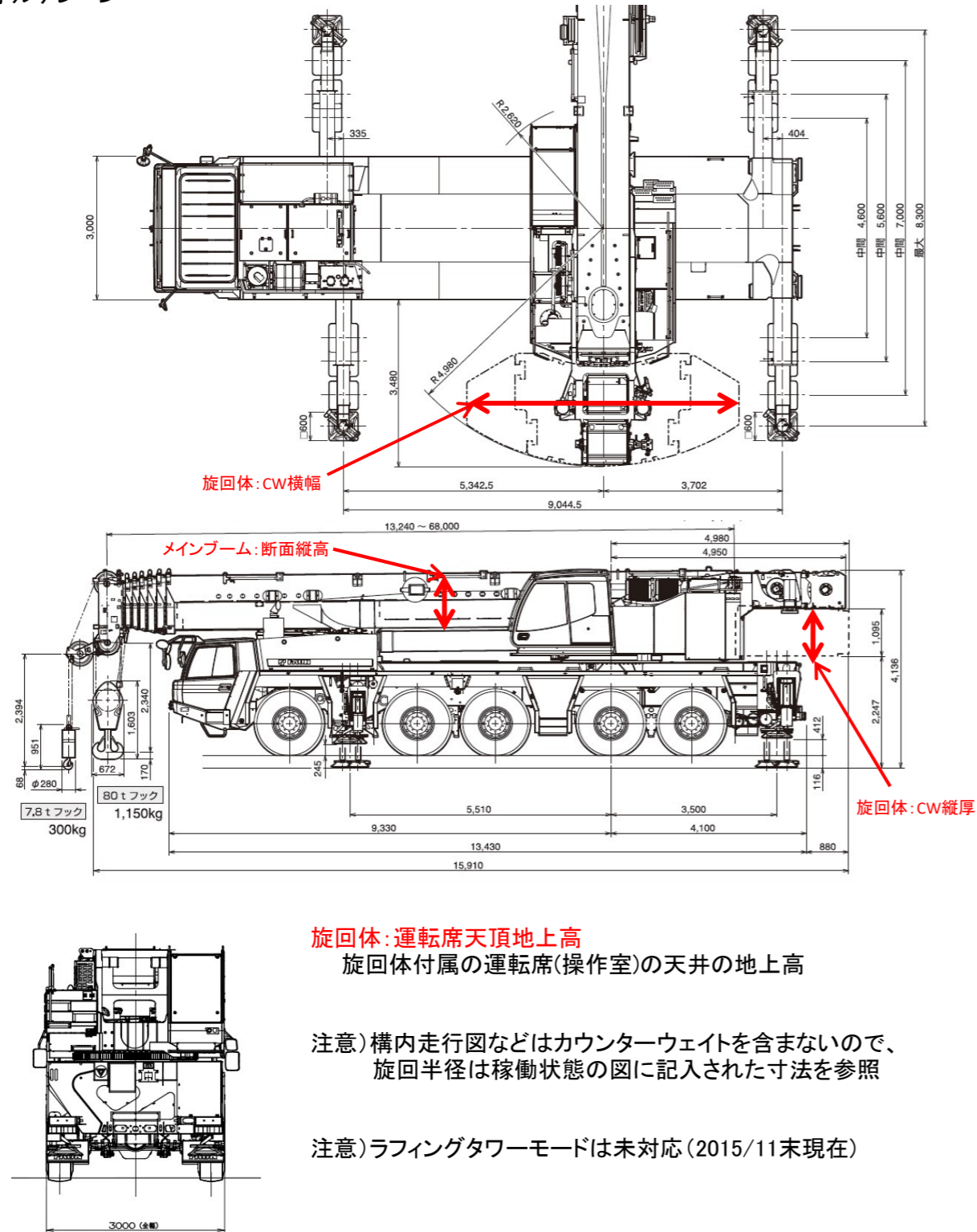
備考)

車体: 前アウトリガ-前端距離
前アウトリガの位置は左右アウトリガの中間

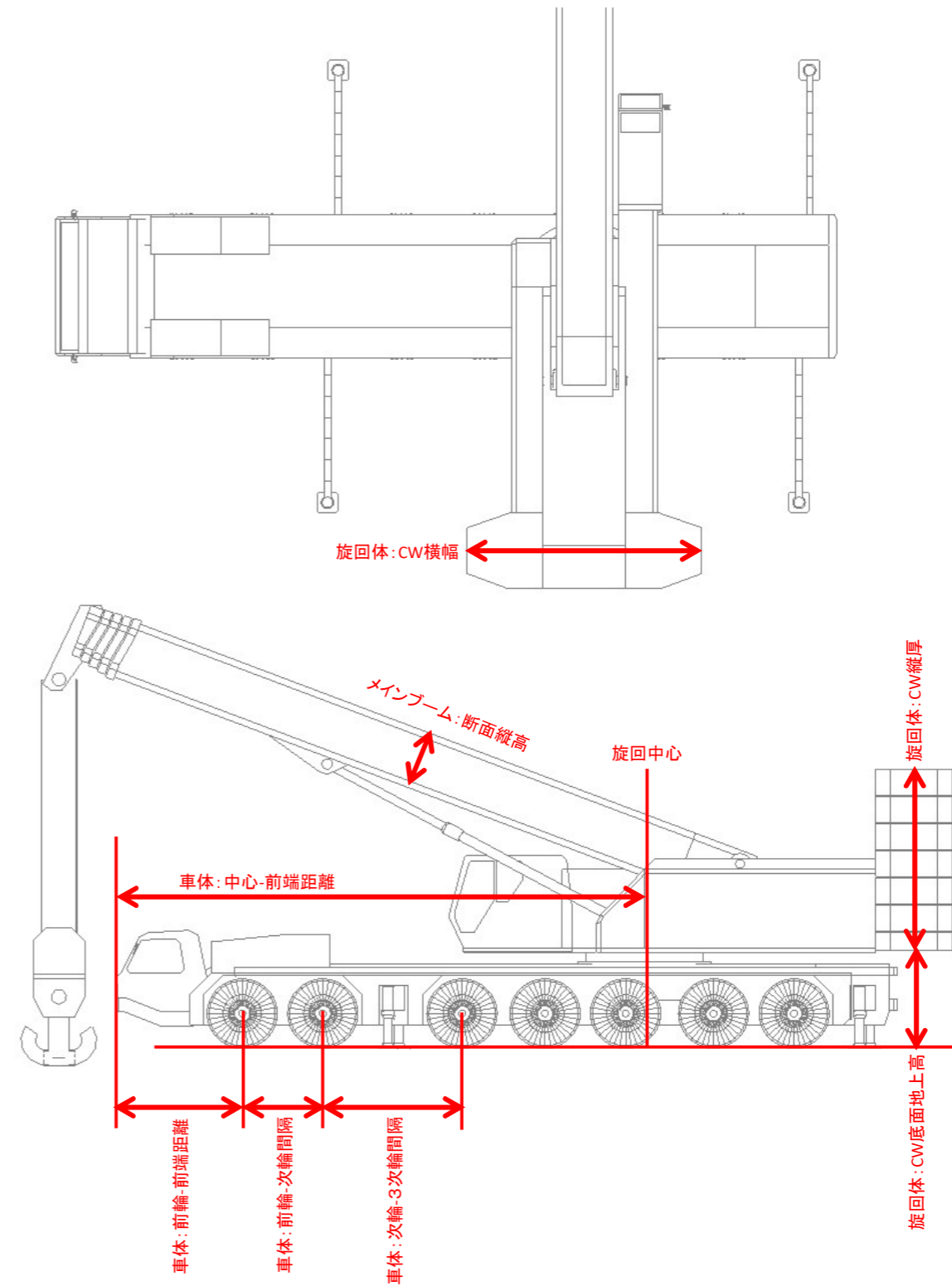
備考)

旋回体: CW前後長
旋回体底面の立ち上がりから
後端までの距離

MR-350R
オルテレーン



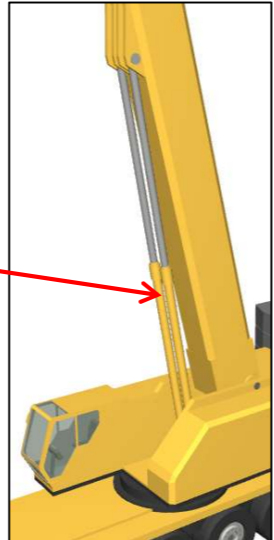
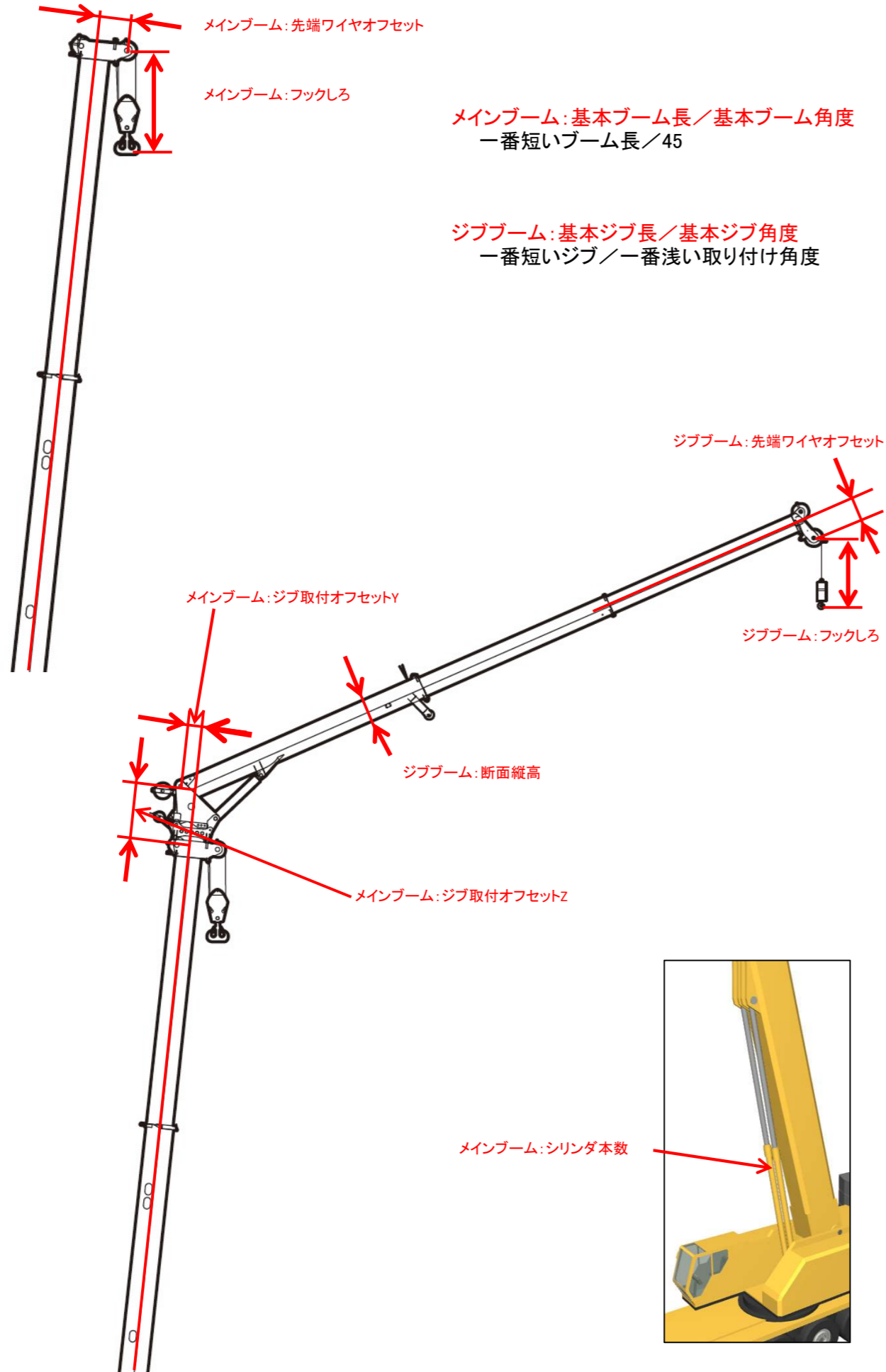
GR-160N-1



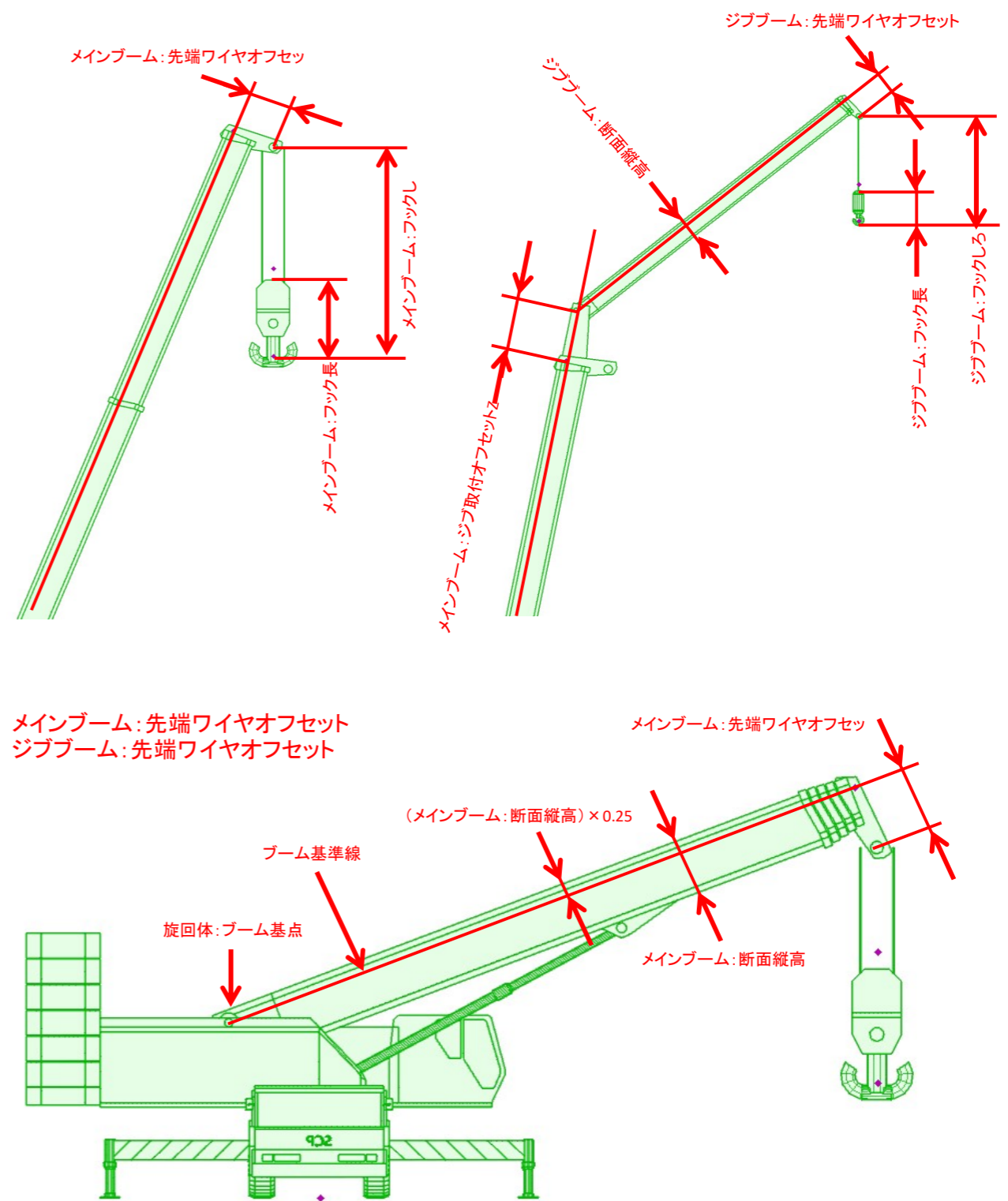
注)カウンターウェイト周辺のデザインは機種によって異なる

例)「16.旋回体後方出張長」はリール部がカウンターウェイトの後方に出っ張っている場合に出っ張り分(=カウンターウェイトの引っ込み分)を指定(ATF130G-5など)
また、リール部が出っ張ってなくても、リール部を作図させたい場合は「0.01」といった小さな値を指定(ATF220G-5など)

ATF220G-5



AR-4000M-1



ホイールクレーン用ブーム(テレスコピック型)の基準線は作図されるブームの中心からブーム断面高の1/4ずれた位置になります(メインブーム/ジブブームいずれも)。

AR-4000M-1